

〈解答のポイント〉

理科の多くの問題は、口で説明するより、実際に具体物を使用して自分で答え合わせを行うことをおすすめします。そうすることで、体験として知識を修得することができます。実験後、類似問題を解くことで学力の定着を図るとよいでしょう。生活の中のさまざまな機会を捉えて声をかけ、積極的にお子さまの目を周囲に向けさせるようにしていきましょう。

18 風の向き

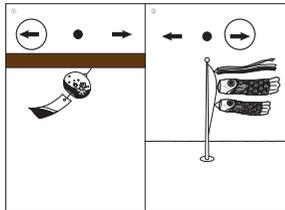
難易度☆☆

〈問題〉それぞれの矢印は風の向きを表しています。絵を見て風がどちらの方へ吹いているか、正しい矢印に○をつけてください。風が吹いていないときは真ん中の●に○をつけてください。

〈筆記用具〉青鉛筆

〈解答時間のめやす〉各30秒

〈解答〉下図参照



〈解答のポイント〉

本問も問題17と同様、「体験することで理解する」問題です。洗濯物が揺れている様子や、ドライヤーで髪を乾かすときにどのように

髪がなびくか、またはうちわで紙を扇いだとき紙がどのように動くかなど、お子さまの周りにはたくさんの教材がありますから一緒に試してみましょう。

19 さまざまな仲間

難易度☆☆☆

〈問題〉それぞれの段の左側の絵と仲間だと思うものを右から選んで○をつけてください。終わったらどんな仲間なのかお話ししてください。

〈筆記用具〉青鉛筆

〈解答時間のめやす〉各3分

- 〈解答例〉①イカ・カツオ（海に棲む生き物）  
②クレヨン（「書く」もの）  
③靴下・靴（「履く」もの）  
④ツバメ・ハクチョウ（渡り鳥）

〈解答のポイント〉

上から「水棲生物」「文房具」「身に付けるもの」「鳥」と分類してしまうと、すべての選択肢に○をつけることになります。出題者は解答例のように、さらに細かく分類することを求めていると考えられますから、その要求に応えるように指導してください。問題の意図を考えるのはお子さまにはかなり難しいことですから、保護者の方からのアドバイスが必要です。なお、②③は理科の問題ではありませんが、入試問題に即した形で、同じ仲間わけ・分類の問題として同時に出题しています。